成人映画 23

The

特集＊テーマ不在のピンク映画界を斬る！

包茎・短小が自宅で

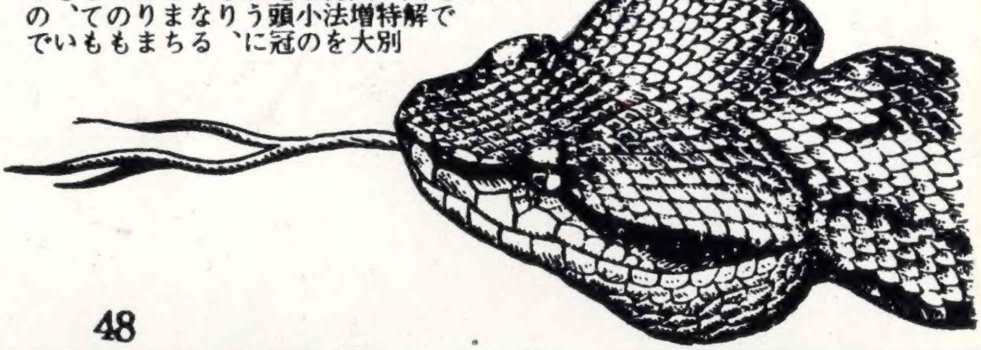
●どんな短小も　モリモリ　増大する

●自宅で包茎も短小もピタッとなおる科学的自宅整形医学いよいよ公開す！すなわち医学博士秋吉隆夫・平野昭平両先生の貴重なるご尽力によってついに公開された無痛式増大秘法は豊富な図解と親切ていねいな説明指導付ですからどんな遠方や地方の方でも自宅で無痛無害、絶対安全にスグできるのです!!

●包茎も早漏も　ピタッと　なおる!!

●中老年期の萎縮症も!!

『いよいよ公開された男性機能増大秘法』は、細を太に、短を長にしかも亀頭冠の肉質を拡大する方法を無痛医学と細胞医学の研究成果によって、少しも痛まず自宅でこっそりとスグできる秘法中の秘法であります。これは世界で最も進んでいる西ドイツの人体医学に立脚して医学博士秋吉隆夫・平野昭平先生が日本で初めて公開されたもので整形をしたくも遠くて行けない方や手術がキライな方が自宅でできるようたくさんの図解と絵入で手にとるように特別くわしく指導した無痛式増大秘法であります。増大秘法をスグ実行すればどんな短小の方もモリモリ長大に、亀頭冠もハブ（毒蛇）の頭のように大きく固くたくましくなり、ボッキ力が驚異的強大になるので萎縮症も早漏もたちまちピタッと全快するのであります。そしてわれながらたのもしいかぎりが五十を過ぎても六十七十の坂をこえても、いよいよ燃えさかってくるのであります。



●標準サイズは何センチ？

短小というのは標準サイズ以下のもので、その標準サイズは各医学者のデータを平均してみますと男性器の長さ十二・七センチ周径（まわり）十一・五センチとなっています。

ところが、細胞医学の開発が遅れていたため、いままでの人々は男性器のサイズというものは生まれつきのものでどうにも仕様がないものとあきらめざるを得なかったところ、西ドイツの人体医学に立脚して研究公開され、手術も薬も使わず自宅で細を太にし、短を長にできる最新の増大秘法が医学博士秋吉隆夫・平野昭平両先生の多年苦心研究の結果いよいよ完成されたのです。この増大秘法は異物注入などの方法ではなく、そのモノ自体の細胞組織の肉質を急速にふやして増大する方法ですから、永久不変に増大を誇り、一生がい精気ハツラツとしてそのたくましさで女性を歓喜させ征服できる無痛式絶対安全の増大秘法です。この増大秘法は六十才でも杜者をしのぐ精気ハツラツになったという感謝状に力を得て両先生が鋭意研究完成されたもので、暗い沈み切った懊悩のフチをさまよわざるを得ない六十七十の人にも再び回春歓喜の人生がとりもどせるのです。

●包茎の恐ろしさ……

まず包茎は亀頭部分が包皮によって保護されているので表面が敏感となり、どうしても早漏になります。この早漏の悩みは何ともたえがたいものなのです。わずか七、八分でダメになってしまうのです。ですから女性には必ずケイベツされ、相手をイライラさせて性的ノイローゼになるのです。ですから結婚してもうまくいくはずがなく、一生がいにわたってカタワモノあつかいされ女性にきらわれて過ごさねばなりません。

この恐るべき包茎の苦悩から一日も早く脱出する方法ーつまり自宅でスグできる仮性包茎の完全なるなおし方を秋吉博士の秘法は教えているのです。病院へ行くのが恥ずかしい人や手術のできない人は、一日も早くこの秘法を行なえば自宅で人に知られずスグなおせます。

最も信頼ある医学博士が、多年苦心研究の成果を公開指導されたものですから、絶対に安心して指導通りに実行さえすれば、急にあなたの人生がパッと明るくひらけて、心がハレバレするのです。あなたの包茎も早漏もピタッと完全になおりどんな短小もモリモリ増大し、もう女性にも誰にもバカにされないリッパな一人前のたくましい男性になれるのです。

●どうか、短小でお悩みの方、包茎や早漏、夢精、遺精、中老年期萎縮症、快美感減退や悪癖自慰等でお困りの方はクヨクヨ考えていないで、一日も早く『男性機能増大秘法』を実行してください！そして、男としての標準以上の太さ・長さ・強さになってください!!

●専門に研究された医学博士の先生が、誰にもスグ実行できるようくわしい図解と絵入りで親切ていねいに指導されているのです！

●ただ今、特別公開記念のため切手七十円をフートに入れて『増大秘法の公開案内送れ』と申しこめば、中が何かダレにもわからぬようスグお送りします!!

●あなたも早く、強く、たくましく、女性を圧倒する男のミリョクをそなえてください！そして、男の一生がいの幸福をつかんでください！

申しこみさき　東京都玉川局区内玉川局一号
◎日本細胞医学研究室指導部成人係

特集／縄と鞭とナイフを捨てろ！

テーマ不在のピンク映画界を斬る！

P4

成人映画

No.23：目次

スクリーン・エロチシズム〈今月の新作紹介〉 P28

■女体残虐図
■売　女
■色　罠
■通り魔
■処女証明書
■個室のテクニック
■リンチと縛り
■惨奇・生体実験
■変質者

PLAYMATE魅力探険＊水城リカ P14

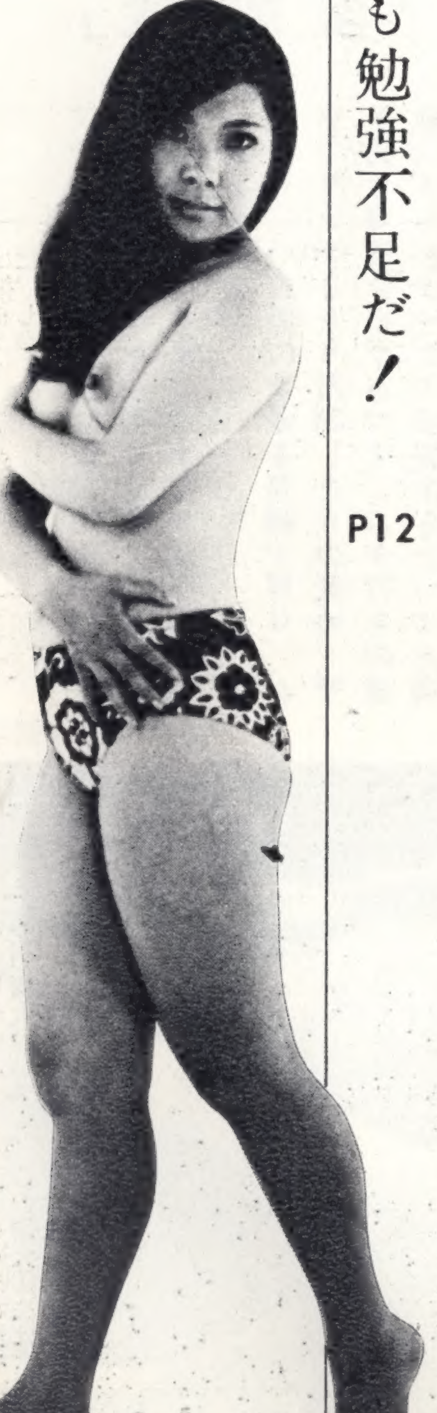
谷ナオミにピンクな質問
ピンクスターのセックス意識 P24

〈独立プロ代表者インタビュー〉■矢元国映社長
監督もスターも勉強不足だ！ P12

■シネキチ街 P26

■編集後記 P34

成人映画見たまま P23



林 美樹

とナイフを捨てろ!

テーマ不在のピンク映画界を斬る！

特集

「悶絶」「浮気妻」「淫紋」「変態魔」

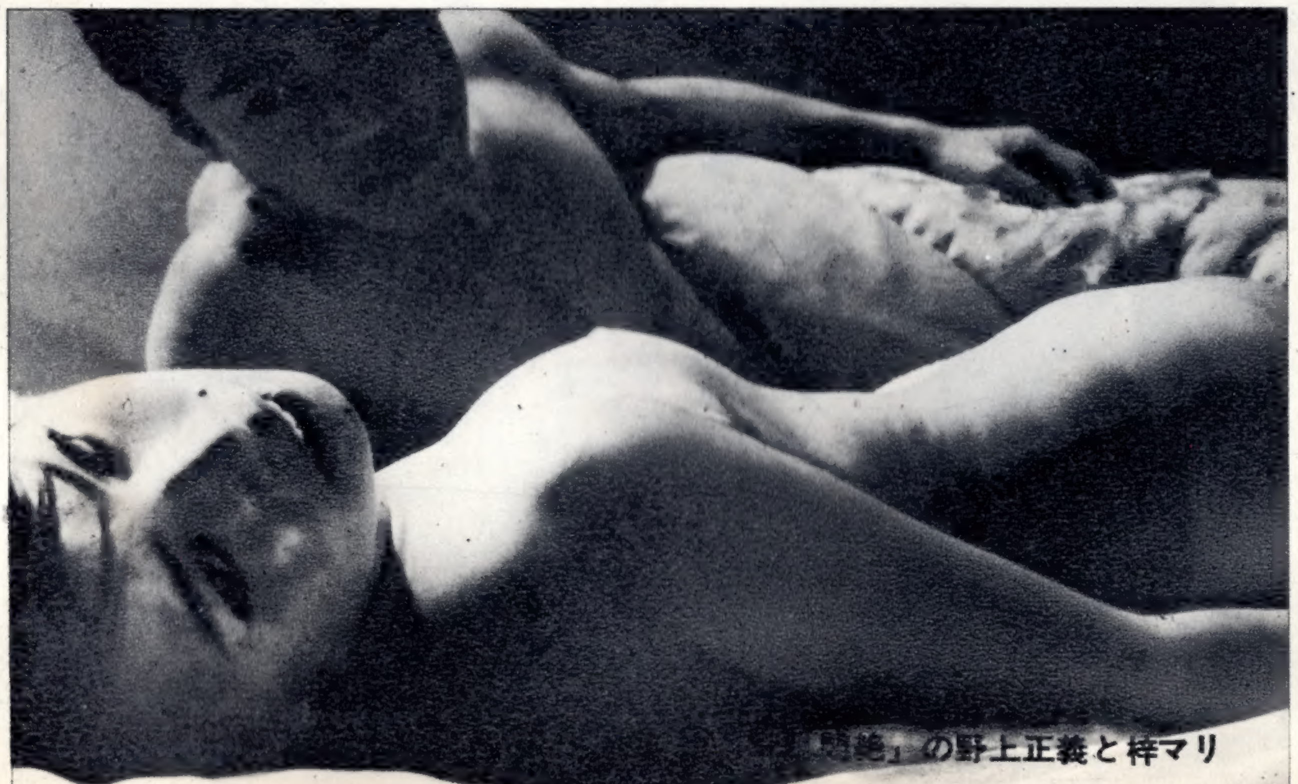
最近、ピンク映画は以前のようにハダカやベッドシーンが売りものではなくなり、縄と鞭（ムチ）とナイフが主役だといわれている。

つまり、ハダカの女優を荒縄で縛り、ムチでリンチしたり拷問したりの責め、サド的な場面が必ずあって、ムチ打ちの連続、さらにナイフで殺害するといった殺伐な内容のものが多いのである。

エロから残酷にかわってきているのは事実で、そうした刺戟がないとお客はあきてしまって…というのが、各支配人や館主たちの感想である。果してそれでいいのか。

こうした傾向に反発するかのように、もう一度、本来の姿にもどしてから…という姿勢もみられるのである。

最近の話題を拾うとピンク映画のスター香取環が健在さをみせて主演の座を守り、歌謡界に返り咲いていた内田高子が久々に登板、新人作りのうまい新藤孝衛監督が柳川優子を起用しているし、ピンク映画のパイオニア、関孝二監督が、こんどは日本ではじめてという立体映画の撮影をはじめた。



「悶絶」の野上正義と梓マリ

縄と鞭と

「悶絶」の香取環

悶絶　異常な性愛描く

葵映画の西原儀一監督と唯一人の専属女優香取環のコンビ作品はかなり多くその息も長い。手堅い演出手法を心得た西原監督の映画作りにこの世界の演技派といわれる香取環が取り組めばまずファンに損はさせない映画をみせられるのは当然。しかしそれだけに冒険が不足していることや、新鮮さに欠ける点がなくもない。こんどの「悶絶」のタイトルもこれまでの葵映画ムードから脱出し得ないものだ。

それだけに逆に西原—香取のコンビ作品は一つの信用とお客を裏切らない映画とはいえるが、一歩も二歩も冒険と、新しい企画の果敢な実行が待たれるのである。

ところで「悶絶」はわれわれになにを問いかけようとするのだろうか。

ある美しい未亡人香取環とその亡き夫の妹梓マリ(新人)、それに老女中天野照子の三人が住んでいる。

しとやかな香取にくらべて梓はボーイ

フレンドと連れ込みホテルにまで行って遊ぶ女だ。一年前、親子ほども違う香取のダンナ小柴京二が断崖から足を滑らして死んだが、死体は見つからない。
未亡人に再々結婚を迫っているのが幼なじみの松浦康。その熱意に抗し切れず彼の胸に抱かれてしまう。そんな彼女に死んだと思ったお富さんなんならぬ、亡き夫から電話がかかってくる。
そして彼女の前に洋一が現われたことから彼女は夫を警察につき出そうとする。周囲の目は彼女を狂人扱いにさえしてしまう。やがて彼女から意外な自白がなされた…。"異常な夫の性愛に悶絶する若き人妻の哀しいさだめ…"というのがこの作品のウタイ文句なそうだが、一つのスリラー的な要素もあって、それに香取と新人梓マリの強烈な全裸ベッドシーンがあるのだから、ヌードファンには興味の一作だろう。

「淫紋」 女の性を正攻法で描き金沢ロケが効果あげる

久しく映画から遠ざかっていた内田高子の主演映画。題名がなんともややっこしい。製作の国映にデンワできいたとき「インモンです」というのだ。
「なに淫毛?」
「みだらな淫にモンです」
「淫門…ゲイのあれかい?」
「みだらな家紋のモンですよ」
やっと題名の意味を理解するまでかなりの時間がかかりまるでこれじゃクイズである。それでも一度きいたら忘れられない特異な題名である。「淫紋」…泣かせるねえ。どうも国映というところはこうした題名が好きらしい。「裸虫」「悲器」といったのがその代表だが、こんどの作品は「封建的な家風(紋)と淫らな出来ごと」が描かれる。監督は向井寛。
物語は戦時中の金沢の名家。床に入ったきりの男のもとへ嫁入りした内田高子。夫は意外にあの方が強く、真昼間から飽くことの知らない情欲の激しさに女の本能には勝てない。この家には姑と夫の弟(久保新二)、それに下働きのよねがおり、弟には娼婦の恋人(一星ケミ)がいる。
やがて夫が死に弟に雨の夜、挑まれて

「淫紋」で久保新二と一星ケミのベッドシーン

「淫紋」で久々に登場したピンク映画界のエース内田高子

野原で身体を許してしまう。その後、弟が召集され、特攻隊員になるが、脱走してきた。

追われた弟が憲兵に射殺され、内田は弟の子供を妊娠していた。彼女は古い因習に包まれた家風を破壊して子供と共に生きてゆく…。いかにも向井寛監督らしいオーソドックスな手法で、金沢にロケしただけの効果をあげている。内田がほとんど脱がず、逆に一星ケミがベッドシーンの大サービス。水上勉の「あかね雲」や女の性を正攻法で撮った五社並みの作品。しかしもう向井監督はこうした傾向からもう一歩飛躍してほしいという声がある。

この作品で久々に出演した内田高子がどんなハダカとベッドシーンぶりをみせるかが期待のマトだが、全然ハダカがみられないのは一つのファンとしての不満を残すだろう。

雨の野外で犯されるのだが番傘のカゲで彼女の苦痛の表情と、争う濡れた脚、情交を表現する脚が二カットで処理されており、ヤマ場だけにカラーの美しさはあってもサービス不足は演出の責任だろう。

「浮気妻」の濃厚なベッドシーン

浮気妻

奇妙な情痴の世界

新藤孝衛監督といえば新人女優を起用することでは抜群の手腕の持主である。「大山デブコの犯罪」などに主演しているかっての実験劇場「天井棧敷」に入って「雪の涯て」のピンク映画スター新高恵子を「雪の涯て」にスカウトしたし、内田高子、江島ゆかりなど、数えあげたらきりがない。なんでも吉永小百合を発見して日活に世話したのが彼だというのだから、やはり新人スカウトには絶対の人なのである。このところ月一本の割りで仕事をしているが、近作は「浮気妻」（関東ムービー配給）。あまりさえない題名である。

夫を会社へ送り出した後、ふと若い人妻に訪れた誘惑、彼女は夫との夜の生活にしびれるような満足感を得たことはなかった。そして彼女が体験した奇妙な情痴の世界がくりひろげられて行く…という話。主役の人妻には元日活の大部屋にいた柳川優子が起用されている。

一役ごとに新人を使うという手段はこの世界の場合適切であり、新鮮である。

大島渚監督が、一作一作新人でしかも

ほとんどがズブの素人に近い人を使って成功している。

この点は新藤監督に他の監督は大いに見習っていいのではないか。もしその作品の成績がよかったら、次回も考えられていいのだが、泥くさい素人を懸命に使って、あとでスター面されて、結局は後足で砂をかけられているのが現実だ。監督よ強くなれ！である。さて「この浮気妻」は夫の留守中、外交員に犯された彼女（柳川優子）が、旅館で逢いびきして覗かせられたのが、隣室で荒縄で縛られた裸の女が初老の男に鞭でなぐられ、苦痛と快楽に身悶えていた。

こうしたサディスティックな描写が必要とされるところなどはもっとも新藤監督の弱いところであり、商売になるもの…をこの辺で安易に妥協してしまうモロさが惜しい。

物語は巧妙な罠にかかった人妻が、やがて、自分も覗き窓から見られていることを知りながら、男とからみ合って悦楽にひたってゆく。結局は〝嫉妬した夫〟が妻を情熱的に愛撫し、おんなのよろこびを開眼させる—といったような筋である。

どちらかといえばオーソドックスな手法で知られる新藤演出だが、女の性（さが）を異常さと嫉妬の中から発見し物語ってゆく—といった作品だが、内容そのものはいたって古いのではないか。この辺でバックボーンのある作品内容で勝負してほしい—と望みたい。

柳川優子は、はじめての「成人映画」の仕事であり、音にきこえしハダカ演技に〝なにはなくても全裸〟とばかりすぐさま脱いじまうのみこみのよさ。おかげでスタッフは目の保養になったとか。

この作品、あまりのリアルなベッドシーンに映倫が13カットも切れ！とはじまって以来の要注意を出したそうである。

「浮気妻」でデビューした柳川優子

ピンク映画のパイオニアでもある関孝二監督。例の白髪と好人物の表情で絶えずなにかを狙っているこの世界の先輩格だ。「欲情の洞窟」「媚薬の罠」「ヒップで勝負」といった娯楽作品に徹している監督だ。もともと生物映画製作所で動物映画を手がけてきた人だが、映画には熊とかサル、ブルドック、蛇など、動物をとり入れているのだが、この監督に注文をつけたいのは数々あっても、やはりカツドウ屋根性は消えない人だ。

テーマ不在！といってしまえばそれま

変態魔　日本で初めての飛び出す立体映画

でだが、冒険を試みようという意欲は認めていい。そんな関孝二が、日本ではじめて――という立体映画に取り組んだのだから、やはり見せもの映画の本領発揮といえる。

新日本映画研究社製作の「変態魔」がそれだが、配給は日本シネマほか。

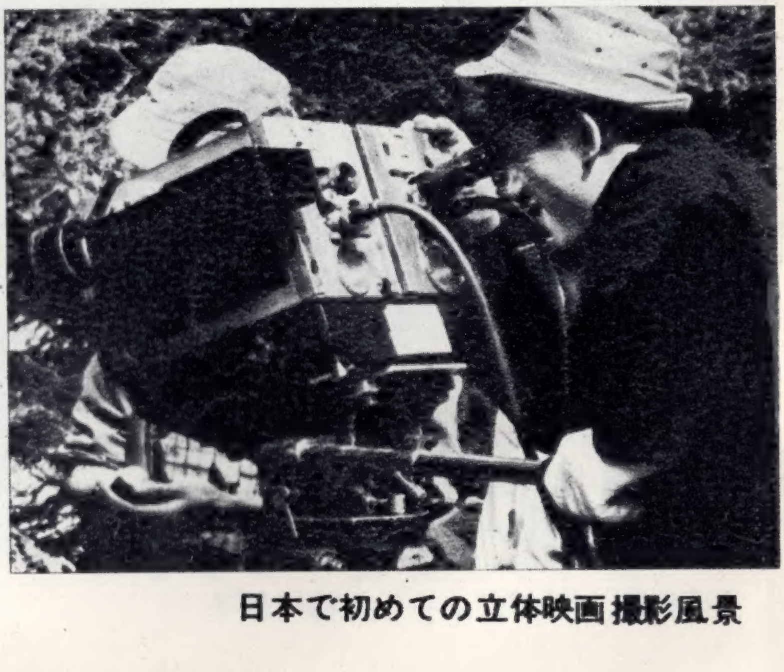
この立体映画というのは去る25年「恐怖の街」と「ブアナの悪魔」がはじめてだそうだが、本格的なのは「肉の蝋人形」「フェザー河の襲撃」などがあり、紙製のセロハンの色紙のついたメガネでのぞくと画面が飛び出してくるあれである。この立体映画は外国映画のみで、日本では実現していない。それだけにまったく未知なものだけにテスト撮影を重ねて、特殊なカメラの改良を重ねてやっと完成させたのだそうだ。この立体シーンは同じカメラを2台同時に回し、ネガを一本に重ねてプリントするのだが、撮影スタッフの苦労は容易に想像される。

日本シネマでは「日本映画史上はじめての立体映画に成功」といっているが、それが五社系ではなく成人映画界から出現したことは注目さるべきだろう。

さて立体映画の成功はいいとして、映画の内容はどうだろう。

山の中の家に住む兄夫婦、兄はいつも酔っては帰り妻に当り散していた。

痛めつけられる彼女に同情したのが弟だ。兄は二人の仲を凝がい、妻を宙吊りにして拷問し、ひそかに弟が彼女を助けて同情は愛に変ってゆく。再び兄が妻に拷問を加えて首を締めたため、彼女は死んでしまう。肉親の兄とはいえ許せない気持の弟はどす黒い報復を誓う……。立体シーンはこの凄惨なリンチシーンだが死体となった妻の姿が、それを運ぶ車の中で起き上るというショッキングなシー



日本で初めての立体映画撮影風景

ンもあって効果百%。妻に清水世津、兄に津崎公平、弟に武藤周作らが出演している。

吊るされた女がベルトをムチのように使ってリンチするーというのだから、ここでも縄とムチがフルに使われており、ピンク映画の内容のあり方や、傾向がハッキリしてきたことをここでも知らされるのだ。

〃のけぞる女体、飛び出す画面〃このキャッチフレーズでこの「変態魔」どこまで観客を動員するだろうか。それにしても初の試みであるこの立体映画の製作に先べんをつけ、それを実現させたことは一つのアナであり、冒険であった。果敢な製作態度にどんな反響が出るか興味深い。

立体用のメガネ(紙製)は入場者にくれるが、試写をみた限りでは四カ所にわたっての立体シーンがあり、かなり疲れるのは見なれないせいだろう。

リンチされる清水世津

ンタビュー・シリーズ② **矢元社長にきく**

スターも勉強不足だ！

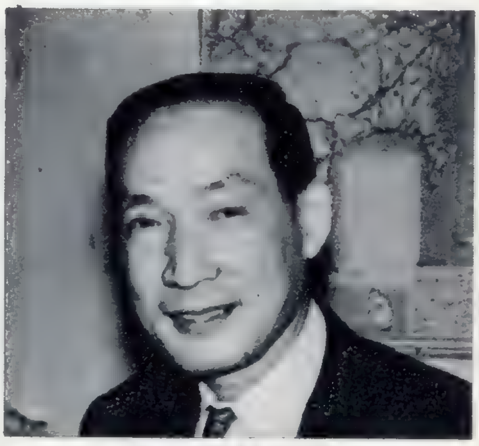
直営館をすぐにでも設けたい

—国映が製作と配給のみで、映画館を持たないのはどうしたことか。といわれているけど。

「直営館を持とうという目的は十分にあるどころか、条件さえ揃えばあすにでもやりたいんですよ。六大都市に封切り館を作るつもりでいるわけです。

とりあえず東京をはじめ大阪仙台、名古屋、福岡というところだが、なにしろいい場所が見当らないので困っている。それにかかる資本も用意しているわけです。あっても立地的条件が問題でね。場末じゃ意味をなさないし…。

映画は製作、配給、興行と一環してやるのが本当であって、それがないことには独立プロの本来の姿はないといっていいのじゃないですか。いつまでたっても一本のフィルムがあちこちの映画館で買いたたかれていたんではね」



矢元照雄社長

—いまの監督に望みないことは。

「注文するなら勉強が足らんね。ベッド・シーンさえあればいいというんじゃ大衆からあきられる。製作費が安い、日数が少ないというけど、独立プロの狙いは安くていいものが狙いなんだ。フィルムだって同じフイトだしそれぁいろいろ条件が揃はないことをあげたらきりがないが、創意と工夫が足りないね。

映画はもともと娯楽なんだし、三本立ての作品がどれもこれもみんなベッド・シーンとハダカ映画じゃソッポ向かれること必然だね。メロを基調にしたセクシーなものがあってもいいんだよ」

—「荒野のダッチワイフ」というきわめて難解な映画を製作、配給したのは。

「映画は一般の人がわかる内容のもの—というのが本当なんだが、あれはハッキリいって大和屋竺監督のマスターベーション映画だよ。あんなのばかり作らせるわけじゃないが、冒険も必要だし、あれを一つの足がかりにさせたわけだ。

それぐらいの余裕はうちにもあるってことだよ。素質のいい監督は育てるべきだからね」

スターは育てるべきもの

—この世界にスターは不在であっていいという説について。

「冗談じゃない、それだからい

「新・情事の履歴書」でデビューした瞳亜矢子

独立プロ代表者イ

監督も

かんというんだ。絶対にスターは必要だよ。スターは育てるべきものだ。ハダカにしてポイじゃ誰もこの映画界に寄りつかんよ。五社並みに大いにスターを育て大切にするのが本当だよ。これまで有能な女優が、数人やめて行ったけど、それらは新劇などで自分の意欲を満たしている。ピンク映画はベッド・シーンや拷問ばかりで、進歩発展がないといってみんな去ってゆく。これは作る側の責任なんだ。もっと考えてほしいね」

—監督陣をもっとバラエテイに富んだ人材で映画作りするつもりは。

「どこの社の人だろうと一向にこちらはかまわない。たとえ五社の監督だろうとテレビのディレクターだろうと…。要は積極的にやろう、いいものを作ろうという意欲のある人材なら大歓迎だ。ただピンク映画だからなぁーといって色わけして尻ごみする人はゴメンだ。

もともと芸術家は映画を色分けするもんじゃないんだ。そんな監督はいい仕事ができるわけないよ。まぁギャラの点で問題はあろうけど、ギャラばかり考えて自分が映像でどうコミュニケーションするかを忘れてしまっては困るんだ」

—最近のアンダーグラウンドシネマの傾向についてどう思いますか。

「大いに結構なことじゃないですか。若い人たちが、自分の思想なり芸術性をストレートに映像メディアの中で発表してゆくという試みは…。プロデューサーも監督も、俳優ももっと勉強してほしいよ」

魅力探険＊水城リカ

RIKA MIZUSHIRO

魅力探険＊水城リカ

★11月1週
淫紋・処女妻姦通
(コクエイカラー)
監督／向井寛　出演／内田高子・一星ケミ
★12月1週
不能者 (コクエイカラー)
監督／小林悟
出演／仲小路慧理(国映専属)・松井康子
★正月1週
妾市・刺青の女(仮題)
(オール・カラー)
監督／山下治　出演／亜矢子(国映専属)
仲小路慧理(国映専属)
★2月1週
掠奪された花嫁(仮題)
日台合作第一弾
オールカラー
監督／小林悟
受胎旅行(コクエイカラー)
原作／野坂昭如　監督／向井寛
★3月1週
桃源境(仮題)(コクエイカラー)
監督／小山甫
黒い雪
監督／武智鉄二
・内田高子・松井康子
不能者
俺は片輪じゃない！現代病にメスを入れた問題作！
松井康子／仲小路慧理
国映
製作／矢元照雄
国映株式会社
仲小路慧理(国映専属)

成人映画見たまま

悪道魔十年

（東京興映）

歪められた性犯罪者の壮烈な情念を描く

達見典子を責める里見孝二

ストーリー　幼い時寺の住職に拾われて育ち、きびしい戒律の中で思春期をむかえた若い僧侶慈海（里見孝二）は禁色の中ではじめて女を知ったが裏切られた。嫉妬から殺人へ―そして逃げて枕絵師になったが、秘戯図に異常な執着を燃やし、ついには変態的な情欲からつぎつぎに歪んだ性犯罪を重ねて、最後には自殺る。

拷問映画のファン　とにかくはじめから女を縛ってはつぎつぎサド的な加虐を加える里見孝二の演技には、ストレスも解消してしまうくらいなんだな。オレ、昨夜、女房からさんざん悪態をつかれてカリカリしてたんで、この女の責め場シーンの連チャンにゾクゾクしたな。それもセックスシーンと責めのシーンはパッとカラーになって、それがまた一段と美しいし、リアルなんだ。里見が終始一貫、形相凄くやるんでお疲れさまといいたいくらいなんだ。

学生　オドロイタなあ。美矢かほるをはじめ、達己典子、松井康子、林美樹、谷ナオミ泉ユリなどをつぎつぎ縛っては枕絵のモデルにしようと責め殺す。それも殺す前にきまって犯すんだからまるで小平もどき。あまり大した理由もなしにまるで犬コロのように殺害するのは、なんとしても共感をよばないな。テーマ不在の拷問、殺害のエロ映画というところだ。

ファン　小森白、山本晋也、渡辺護監督の合作だが、この三人がバトンタッチ式に撮っているようで、この順序に演出の腕がわかるね。美矢が演技的にトップ。松井康子がもっと痩せてほしいよ。

眼次郎

セックス知識はものすごい

問 性感帯はどこ?

答 男の人とダンスなんか踊っていて息が首筋や耳にかかると全身鳥肌になっちゃうの。もっと大人になるとそれがおんなのヨロコビに変るでしょうけどね。

問 キスの経験は何才で。

…な質問

セックス意識

答 高校一年のとき。

問 相手は。

答 同級生の男の子。

問 セックスの経験は。

答 まだないの。

問 信じられないね。

答 ホントよ! でも知識はすごくあるわよ。

問 セックスも知らないのによく映画でベッドシーンをリアルに、やり、エクスタシーの演技ができるね。

答 いろいろと勉強したのよ外国映画や、ピンク映画の先輩のをみたりして…。

問 あの声はよく出せるね

答 ホンモノのテープをかりて聞いて勉強したの。

問 "男性自身"にさわったことある?

答 ウヘヘヘ。一回だけよ。

スペシャルのコツ教えます

問 豊原路子さんのところでスペシャルを習ったという説は。

答 手ほどきは受けました。

結婚や同棲はいやだけど、強引にされたい

谷ナオミクンはまだ18才。まだリッパなバージンであるそうな。しかしあの濃厚なベッドシーンをみていると、とても信じられんのである。それでいてあとくされのないセックスを嘱望しているのでアル。

あのローションってのは、ヒゲソリあとにつけるローションに水ハミガキを一滴たらすのよ。ハッカが入っているから刺戟するのね。だから早くエンドになるのよ。ワカッタ？

問 体位はどのくらい知っている？

答 いろんなの知ってるわよトランプとかカードもってるし、でも実際のは全然ダメ。

問 ペッテングすることある……？

答 さわったりするのきらいだから。

問 オナニーは。

オッパイをとったら なにも残らない

答 ワカンナイ。私はまだ18才なのよ。

問 セックスの夢はみる？

答 毎日のようにみている。抱かれたり、愛されたり、ハッと目がさめてからはなかなか眠むれないのよ。

谷ナオミにピン

ピンクスターの

〝男殺し〟という谷ナオミのオッパイ

問 男殺しのオッパイといわれてるけどどう思う？

答 オッパイだけは大切にしたいわ。私からオッパイを取ったらどこもいいところないしさ。オッパイで稼がしてもらって食べているしね。

問 それだけ割り切れるとリッパ、リッパ。

答 だから見て満足してくれればいいわけよ。

問 このあとも長く処女でいたいの。

答 そんなことないわ。私のようなのは強引に〝され〟た方がいいのよね。早く素晴しい男性とセックスして一日も早く女になりたい。でも結婚とか同棲はイヤよ。あとくされがきらいだから……

■シネキチ街■

実験映画はSEXが好き

25日まで草月会館ホールで開かれている「第一回草月実験映画祭」は公募作品のほかアメリカ、ヨーロッパなど世界各国からの招待作品も含めて三十五本が上映されている。

日本の十七本の作品はほとんどが二十代前半の作家に占められており、この世代にプライベートフィルム製作の中心があることを知らされる。

そして描かれる内容も"性"をテーマにしたのが多く、最優秀作品の「猶予もしくは影を撫でる男」(奥村昭夫・24才・東大生)は男根の張り形を男女が担いで、街頭にころがし、それを女性が撫でたりゴロゴロひっくりかえしたりするシーンもある。また奨励賞の「地上懸垂あるいは映像の本質とは?」(須賀喜久雄・25才)は国会議事堂で女が全裸になる(写真)という大胆なロケを行なった作品。実験映画が性と女のかかわりあいがもつとも強いのがことしの傾向らしい。

「不能者」に賭ける松井康子

=第一回プロデュース作=

松井康子の第一回プロデュース作品「不能者」が小林悟監督で撮影中だ。配給は国映で女優が自からプロデューサーをやり主演するのは珍らしいケース。女優が監督をやったのは扇町京子の「やくざ芸者」があったが、「妾」シリーズでヒットを飛ばしたピンク映画の山本富士子こと松井康子がどんなおもしろくてモウかる作品にするかチョイと興味深い。彼女の製作を祝して、鶴岡八郎、椙山拳一郎・津崎公平、藤ひろ子、里見孝二、

新劇でハッスルする新高恵子と谷口朱里

元ピンク女優として活躍した新高恵子と、谷口朱里がそれぞれ引退後、劇団に入って舞台に進出しているが、最近二人とも主役でハッスルした。

新高は寺山修司主宰の「天井桟敷」で「大山デブコの犯罪」にひきつづき、こんどは「花札伝綺」で男役に扮して出演した。一方谷口朱里は人間座に所属してこんどは新宿文化で石堂淑郎初の戯曲「血塗られし胎内列車に乗りあわせる三人半」という長ったらしい題名の作品に出演した。

ピンクからアングラ演劇に進み、とにかくここまでのしてきた両人を見守りたい。

ショート・ニュース

■青年芸術映画協会では「日本風俗誌・性神地帯」を監督新藤孝衛で製作する。秩父・長野方面にロケハンを終り11月中旬にクランク・インし配給は関東ムービー■東京興映では68年度のヌードカレンダーを11月中旬か

谷ナオミ、林美樹、清水世津、一星ケミらがこぞって友情出演している。

岡田茉莉子がパンティ受難

岡田茉莉子にてしはこれまた随分とやぼったいズロースをはいたものである。いまの女の子はほとんどナイロンパンティであり、ショートである。それがまたなんとか母の会のおばはんの如きヒザ上二十サンのズロースとは…。これはつまり「炎と女」(監督吉田喜重)で人工授精の末、妊娠したため、かくなる母体保護の長ばきズロースと相成ったそうで、彼女このためデパートに買いに行ったら女店員が首をひねったそうだ。そしてさては本当に妊娠したのかも…とウワサになったそうでアリマス。

ら発売する。定価三五〇円（東京都中央区東四ー四　蓄産会館内）

■国映では昨年についで68年度のヌードカレンダーを11月中旬に発売する。モデルはオール外人。定価三五〇円（東京都中央区銀座東六ー四村木ビル内）

■成人映画専門館だったテアトル三原橋は11月14日から洋画特選名画座となった。

■成人映画封切館の銀座地球座・渋谷地球座では11月7日から4日間実演を行う。従来のヌードより変ったものを企画。今後も変った実演を企画する。

太地喜和子 文字通りの体当り演技

新藤兼人監督の「藪の中の黒猫」で新人の太地喜和子と乙羽信子の母と嫁が十五、六人の落武者に暴行されるシーンを演じた。

さきの「鬼婆」でも乙羽と吉村実子がオッパイ丸出しにして写真のようなポーズで寝ている場面があったが、新藤監督はよくよくこうしたポーズが好きらしい。

こんどは二人の女優ともオッパイは露出せず、あお向けで失神しているポーズだ。この暴行シーンで太地は落武者役の数人に「手かげんしなくていいですから存分にやって下さい」と挑戦したそうで、その彼女の物凄い抵抗演技に並いる落武者俳優たちはビックリ。

そして全身傷だらけ、オッパイがはみだすのも平気だった。寝ているところでオッパイはみられなくても、この暴行取っ組み合いシーンで太地の可愛いオッパイがチラチラゆれ動くのがハダケた胸からのぞくそうだから、見逃さないことですな。

「女体残虐図」の谷ナオミ

＊今月の新作紹介

スクリーン エロチシズム

女体残虐図

大蔵映画配給

■家出娘の白い肌に喰い込む非情なムチ！

幼いころ母親に捨てられた洋子（谷ナオミ）は久乃に拾われ女中代りに働いていたが久乃の息子に処女を奪われそれを知った久乃は洋子を追い出

した。上野駅に着いた洋子は親切な浅田（長岡丈二）に拾われるが、浅田は連れ込み旅館を経営しながら家出娘をだまして売り飛ばしていた。元ヤクザの赤川（白川晶雄）が経営する山奥の旅館に連れてゆかれ、もぐりの売春婦にさせられた。逃げるにも看視が厳しい。ある夜逃げそこねた洋子は赤川とその情婦（藤ひろ子）に見つかり素ッ裸にされリンチを受ける。みかねた同室の春江（林美樹）が救けに入るが反対にリンチを受けてしまう。客の青木（名和三平）は事情を知って二人を脱走させるが、赤川や子分たちが二人の後を追った。二人は不案内の山道を必死に逃げるが、春江は足にかなりの裂傷を負ってしまう。洋子は春江を抱き炭焼き小屋へと逃げるがそこには……。

監督＝酒匂真直

売女＝日本シネマ配給

■夫の生命を犠牲にした美しい人妻の狂った打算！

明子（辰巳典子）は初恋に破れ金のある初老の紀平（平岡信三）と結婚した。紀平の粘っこい愛撫に嫌悪を感じ毎夜が苦痛だった。友人の光子（林美樹）が明子の初恋の男有田（鶴岡八郎）に逢わせた。二人の仲は急速に戻り再び深い関係になっていったが、この出合がのちに殺人事件にまで発展するとは誰れも考えなかった。夜遅く帰るようになった明子を待っていたのは皮肉な紀平の言葉だった。抵抗する明子にサディックに責めたてた。有田はバーを経営していたが借金があり金に困っていた。明子はそんな有田に紀平殺害計画を話す。

紀平が死ねば金は全部明子に入るし有田とも結婚出来る。有田も金がほしい。そのために二人は紀平殺害を企てる。

この計画は光子やその周囲の欲につかれた者達をも巻きこんで展開してゆく。

監督＝関孝二

「通り魔」の磯香ひとみ

「色罠」の松島みゆき

色罠＝大蔵映画配給

■スパイは誰れだ？　欲望に狂った女の罠！

貿易商社の中沢（桜田譲）は海外出張が明日という日に見知らぬ男に連れさられる。麻酔薬で眠らされ気づいた時は監禁されていた。男（冬木喬三）は「帰国の時持ち帰ったマイクロフィルムを渡せ、君はある国のスパイだ」といわれ中沢には身に覚えのないことだった。別室には同じ社の敬子（松島みゆき）が縛られていた。中沢が口を割らないので敬子に鞭をふった。敬子は事務員のクセに生活や身につけるものが贅沢でさてはスパイだったのかと中沢は疑った。何んとか逃げ出そうとチャンスを狙った中沢は拷問にもじっと耐えた。夜、敬子と中沢は手錠をはめたまま風呂に入れられた。看視は男の情婦（小柳リカ）だ。脱出のチャンスが訪れた。

製作＝光映画　監督＝片岡均

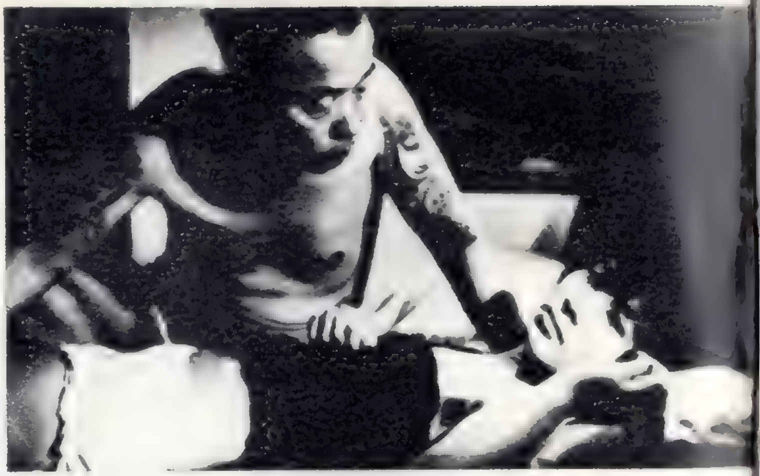
通り魔＝関東映配配給

■祖母・母・娘とたどった因果な黒い血！

みつ（大月麗子）は生れて間もない赤子をだいて山道を家に急ぐ途中強盗におそわれ暴行された。みつと男は崖下に真っ逆さまに落ちていった。残された赤子の芳枝（加賀奈緒美）は父親に育てられ夫（山本昌平）と幸わせな生活をしていた。戦争が激しくなり夫は戦死し芳枝は一人娘の久子（磯香ひとみ）と行商をしていたが生活が苦しく二十万円もの借金があった。そんな芳枝を金貸しの大川（冬木京三）は二十万円と引替えに結婚を迫った。大川はケチで評判が悪いが、娘のために結婚した。ある日、酔った大川は久子を

「売女」の林美樹

「処女証明書」



「個室のテクニック」

犯そうとしたため大川を殺してしまう。

芳枝は母が死んだ崖にゆき自殺を図るが、祖母、母が死んだ同じ場所で久子も通り魔に犯されてしまう。製作＝青年群像　監督＝山下治

処女証明書＝関東ムービー配給

■作られた偽の証明書が男の欲情をかきたてる！

忍（松島美雪）は卒業と同時に会社に勤め同じ社の真吾から求婚された。忍の父は事業に失敗して自殺してしまったが、貧しくとも毎日が幸わせだった。ある夜、乞食に襲われ処女を奪われる。虚脱した忍の前に紳士が現われ婦人科医院に連れてゆかれ人工処女膜の手術をさせられた。手術料が払えないで困っている忍は病室で知り合った真弓（滝真弓）にさそわれ怪しげな旅館にゆき男女の痴態をみせられた。信じていた真吾も出世のため社長の娘と結婚し男を信じられなくなった。会社を退め男を連れ込んでは脅迫し金を巻き上げそのたびに高い金を払って処女膜の手術をした。忍は一枚の処女証明書を利用し男から男へと復讐してゆく。製作＝日本芸術協会　監督＝向井寛

個室のテクニック＝東京興映配給

■男をとりこにする人妻の性のテキスト！

ある中年サラリーマン（川合恒男）が社用で渡航するがのこされた人妻（葵ヒロミ）が古い友人（千原あけみ）の導きで街のコールボーイ組織を知り、そこのベテラン男から女の歓びを教えられるが男は寝室のテクニックをあざわらった。まるで木石みたいだと。妻は性的に魅力のある女

「リンチと縛り」の松宮ユカ

になろうとセックストレーニングに通う。妻の肉体はみるみる変ってすばらしくなった。いつかの男とホテルの個室で愛し合ったが男は生れ変った妻に驚いた。ついに夫の帰国の日が来た。その後も彼と二、三度情交を持ったがこの日をチャンスに悪い因縁はすべて絶った。その夜、夫と妻は結婚以来最良の夜をすごすことができた。

製作＝日本芸術協会　監督＝向井寛

リンチと縛り＝日本シネマ配給

■情欲に狂う夫！　宿命に泣く非業の美人妻！

春江（松宮ユキ）は父の借金のため債権者の瀬川（二階堂浩）と無理やり結婚させられようとした。春江は恋人の義雄（青山一郎）と駆け落ちするが、見つかり引き裂かれる。数年後春江は借金のカタのようにもらわれてきたが、夫の倒錯した性の愛撫とことごとに父の借金をもち出してくる彼に不安を覚える。ある日、運転手が必要になり春江はさりげなく恋人だった義雄の話をし、義雄はお抱え運転手となった。表面は冷静を装っている春江の心は炎のように燃えていた。春江は嫁いで間もない頃、まるで女郎人形のように扱われることに耐えかね東京に逃げ出したことがあった。東京で春江は芸者をやっていた。どこにいっても男のなぶりものになる自分が悲しかった。引き戻され奴隷妻のようないま…でもいまは義雄がそばにいてくれる。心の中の大きなよりどころだった。

監督＝岸信太郎

惨奇・生体実験＝東京興映配給

■残酷！　凄惨！戦争が生んだ生体解剖の全貌！

「惨奇生体実験」の松井康子

「変質者」の林美樹

敗戦も間近い中国戦線に将校の宍戸（武藤周作）は医学研究所へ転属した。所長の大熊（冬木京三）に細菌の培養と解剖実験の担当を命ぜられる。毎日のように生体実験が捕虜によって行われていた。女医の公子（清水世津）も血の臭いを忘れるため看護婦のナオミ(谷ナオミ)を抱きしめ異常な快感にひたっていた。冷血動物のような所長も婦長（松井康子）の脂の乗った体にしびれるような人間的な悦楽を味わっていた。研究していた細菌爆弾の実験の日、捕虜たちは裸にされ爆破のスイッチを押そうとした時、憲兵が戦争が終ったことを知らせる。捕虜たちは毒ガスで殺され日本人同志のみにくい殺し合いが始まった。所員たちは憲兵に殺された。

監督＝小森白

変質者 ＝東京興映配給

■密告、裏切り、冷たい眼で獲物をねらう殺し屋たち！

葉村（里見孝二）は妻（林美樹）が病気になり入院するため大金がいるので殺し屋になる。葉村は妻が死ねば生きてゆかれないほど妻に生命をかけていた。妻は退院し二年間の空白をおしむかのように愛し合った。葉村はボスに足を洗いたいと頼むが聞き入れられず、他の仕事を命令される。それを見向きもしない葉村にボスは子分（山本昌平）に彼の妻を殺すことを命じる。葉村は組の連中のリンチを受けている隙に、子分たちは妻を残虐無道に殺してしまった。復讐の念に燃えた葉村はボスの情婦（谷ナオミ）から「殺したのはボスの命令だ」と聞き葉村はボスに果し状をつきつけた。

製作＝若松プロ　監督＝山本晋也

ODチェーン　映画ガイド

11/21～11/30	悶　　絶（葵映画）	ダブルドッキング（関東映配）
12/1 ～12/10	めす・オスの本能（大蔵映画）	多情な乳液（大蔵映画）
12/11～12/18	浮気妻（関東ムービー）	もち肌（六邦映画）
12/19～12/25	夜ごとの牝猫・続・性と人間・高速道路の妖婦（大蔵映画）	
12/26～1/2	変態魔（日本シネマ）	黄色い太陽（葵映画）
1/3～1/9	性生活と結婚（大蔵映画）	歓　　喜（大蔵映画）

美しいファイルができました「成人映画」を創刊号からそろえてみませんか!?

〈ただ今・発表中です〉

★お待せしました。本誌「成人映画」の保存用ファイルができました。22冊までつづりこめる美しいものです。横12ｾﾝ、タテ18ｾﾝ2、幅5ｾﾝ5、背中に「成人映画」の金文字入り緑色布張り製。価格一冊二百円送料（五十円）

★バックナムバーは創刊号より揃っていますが在庫に限りがありお早めに申し込み下さい。一部百円送料一部につき二十五円

■編集後記

■深み行く芸術の秋、向井寛新藤孝衛、小林悟、山下治、山本晋也、渡辺護、小森白、若松孝二といっためんめんが意欲的に作品と取り組んでいる。こうした顔ぶれを見渡すと監督陣に新しい人材を入れて触発する運動をするべきだと思うが、それを果敢にやるのが、製作・配給会社だ。この世界のある一、二社を除いてはもうただ儲かればいいという主義に徹しているようだ。ドラマ作りも縄と鞭とナイフだけでなく、もっとドラマを考えてほしい。こちらが逆に鞭とナイフを使いたくなる。

■大島渚監督が小松川高校生殺し事件を描く「絞死刑」を武智鉄二監督が「戦後残酷物語」をクランクインした。一方、新藤兼人監督の「藪の中の黒猫」吉村公三郎監督の「眠れる美女」が本格的撮影に入る。成人映画界もにぎやかで活気が出てきた。

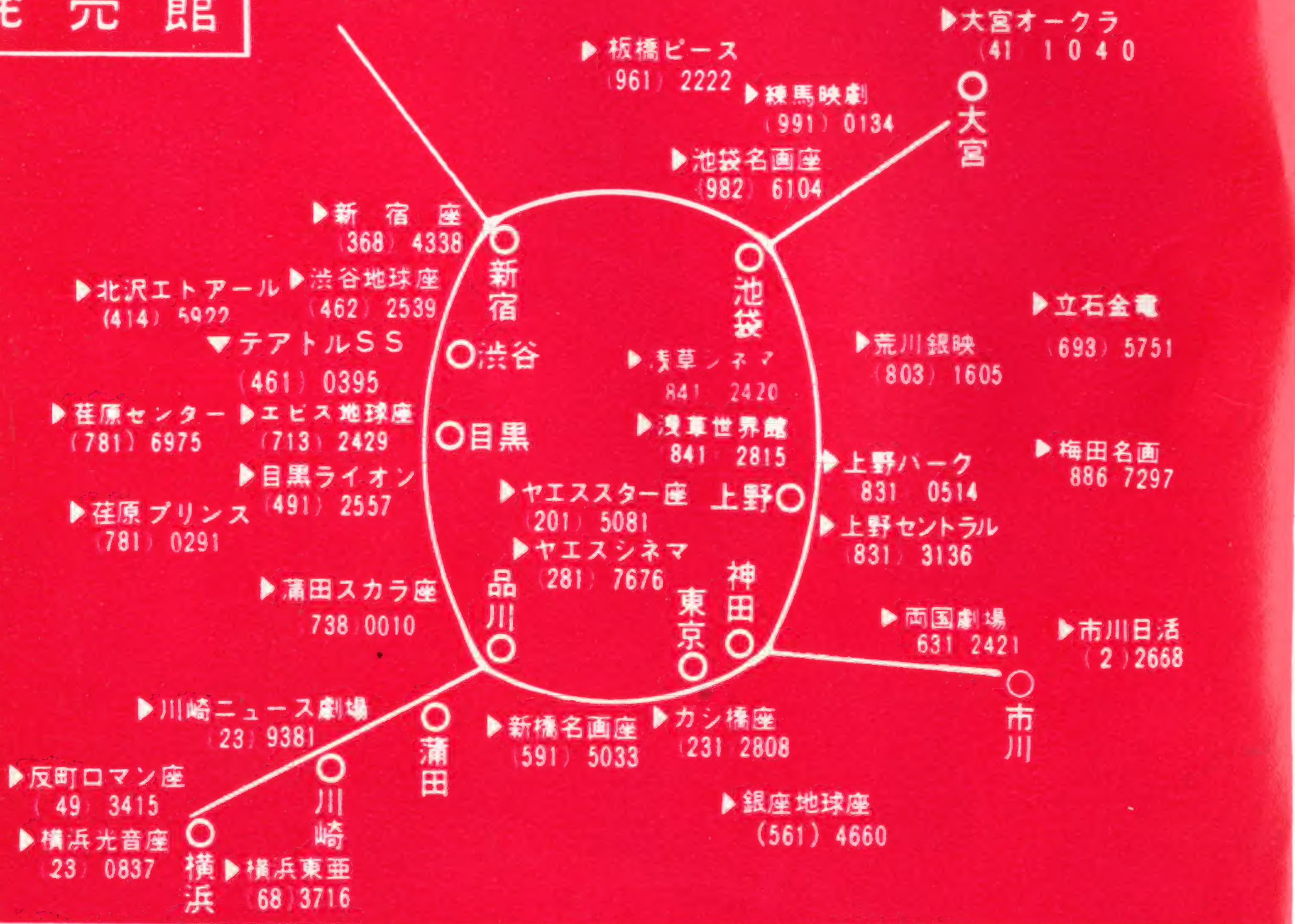
■「成人映画」の別冊増刊号は12月中旬に発行します。内容は「ピンク映画の出来るまで」「女優日記」「ピンクスターとの一週間」「ヌードカラ・ピンアップ」「スター名鑑」「ピンクスターのセクシー㊙ポーズ集」など盛り沢山です。特価二百円

成人映画

■昭和42年11月15日発行　通巻第23号　毎月1回発行　編集兼発行人／川島のぶ子　発行所／東京都中央区銀座西8—10高速道路ビル地下101号室　現代工房電話／東京（571）6400　■定価百円

成人映画 発売館

関東地区成人映画上映館一覧表



大阪

▲あべの名画座 (615) 5885
▲天六映劇 (351) 9138
▲吉本キネマ (451) 6793
▲布施映劇 (722) 2845
▲富士映劇 (86) 4298

京都

▲八千代館 (22) 2250

四日市

▲ぼたん映劇 (2) 2311

高岡

▲中央劇場 (2) 6518

広島

▲福山名画座 (3) 2121

名古屋

▶名画座 (231) 3211
▶テアトル希望 (541) 3044
▶堀川映劇 (231) 6193
▶南映 (691) 6101
▶今池フジ (731) 4763

岐阜

▶朝日映劇 (3) 3321
▶テアトル岐阜 (2) 5487

福井

▶メトロ劇場 (2) 1772

岡山

岡山劇場 (22) 2373

九州

▶長崎東館 (2) 1962

町田

▶町田映劇 (22) 3161
▶エトアール劇場 (22) 2828

横須賀

▶セントラル劇場 (22) 1004

静岡

▶新映 (2) 7350
▶沼津中央 (62) 5180
▶島田東映 (7) 2679

新潟

▶大要劇場 (23) 1751

長野

▶商工会館 (2) 2766

福島

▶若松大映 (2) 6220
▶平名画座 (平) 3839

宮城

▶仙台公園劇場 (56) 4369
▶気仙沼東映 (気仙沼) 821

青森

▶弘前ニュー東映 (2) 4013

秋田

▶能代国際 (2) 4207

月刊「成人映画」通巻二十三号　昭和42年11月15日発行　編集兼発行人　川島のぶ子　発行所／東京都中央区銀座西八ー一〇高速道路ビル一〇一号室　電話（五七一）六四〇〇　現代工房　定価百円